

# 2022年度 繊維製品品質管理士試験の結果等について

2022年11月

〔T E S 試験実施団体〕

一般社団法人 日本衣料管理協会

1. 繊維製品品質管理士 (Textiles Evaluation Specialist=T E S) は、1981年 (昭和56年) 度に通商産業省の告示 (1981年・告示第381号) に基づいて生まれたもので、その狙いは企業活動の合理化、消費者利益の保護、企業と消費者の信頼関係の改善にあります。T E S制度は、1997年 (平成9年) 11月7日に通商産業大臣認定の効力が切れましたが、それ以降は日本衣料管理協会の事業として業界主導により運営が図られております。

2. 2022年度のT E S試験は、去る7月10日 (日) に、東京、関西、名古屋、福井、倉敷、福岡の6会場で行われ、その結果、下記の265人が全科目に合格しT E Sに認定されることになりました<詳細は別添資料参照>。

3. 繊維・ファッション業界にとって、文化的にも、経済的にも高度に磨かれた消費者への対応として、デザイン、価格にらび「品質」の維持・向上が重要な要素となってまいりました。また、繊維産業の近年の傾向として、多くの新機能製品や新加工製品が開発・販売されており、これが消費者苦情を発生させる誘因ともなっています。

T E Sは、繊維製品を製造・販売する企業等において、商品の企画や仕入れに際しての繊維製品の品質に関する自主基準の設定、品質の評価、品質に関する教育、その他品質性能の維持・向上に関する業務を行うことを任務としていますが、こうした状況において、品質向上対策の重要性は一段と高まっており、T E S資格者の果たすべき役割は一層大きくなってまいりました。

日本衣料管理協会としても、T E S資格者がそれぞれの職場において、繊維製品の品質関連業務の中核的役割を担うことにより、繊維製品の品質の維持・向上や消費者苦情の未然防止に貢献することを期待しております。

## 記

	合計
A. 出願者総数	1,620
B. 認定者数	265
B/A (認定率)	16.4%

〔問い合わせ先〕

一般社団法人 日本衣料管理協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-11-13-205

TEL 03-3437-6416 (代)

**2022年度（第41回）**  
**繊維製品品質管理士試験の結果等について**  
**〔詳細版〕**

〔TES試験実施団体〕  
一般社団法人 日本衣料管理協会

**1. 2020年度試験結果**

**(1) 試験日、試験場**

試験日：2022年7月10日（日）

試験場：東 京……………ベルサール東京日本橋

関 西……………京都女子大学 J校舎

名古屋……………名古屋外国語大学 名駅キャンパス

福 井……………フェニックス・プラザ（福井市民福祉会館）

倉 敷……………倉敷ファッションセンター

福 岡……………JR博多シティ会議室

**(2) 出願者：1,620人（前年度1,802人）**

（内 訳）

試験場別	合計	構成比
合 計	1,620	100.0%
東 京	683	42.2%
関 西	449	27.7%
名 古 屋	245	15.1%
福 井	138	8.5%
倉 敷	79	4.9%
福 岡	26	1.6%

(3) T E S 認定者【= 5 科目合格者 2 6 5 人】 (前年度 3 0 1 人)

本年、5 科目の試験に合格した T E S 認定者数は以下の通り。

出願者数に対する認定者の割合 2 6 5 / 1, 6 2 0 = 1 6. 4 % (前年度 1 6. 7 %)

(試験場別)

試験場別	合計	構成比
合 計	265	100.0%
東 京	106	40.0%
関 西	78	29.4%
名 古 屋	40	15.1%
福 井	23	8.7%
倉 敷	11	4.2%
福 岡	7	2.6%

(業種別)

業種	合計	構成比	認定者/出願者
合 計	265	100.0%	16.4%
繊維、糸、織物、編物、不織布	38	14.3%	21.0%
染色加工	17	6.4%	16.5%
アパレル	71	26.8%	17.1%
レース、インテリア、寝装・寝具	1	0.4%	7.7%
商社・卸	37	14.0%	15.4%
百貨店・量販店・専門店	9	3.4%	14.3%
通信販売	9	3.4%	19.6%
検査団体	35	13.2%	19.1%
クリーニング	5	1.9%	11.1%
行政	3	1.1%	50.0%
副資材	4	1.5%	15.4%
業種別団体、その他	10	3.8%	18.9%
教育(教員)	1	0.4%	8.3%
学生	22	8.3%	11.1%
無職	3	1.1%	21.4%
無回答	0	0.0%	0.0%

(業務別)

業務	合計	構成比	認定者/出願者
合計	265	100%	16.4%
生産	22	8.3%	14.5%
営業	35	13.2%	13.1%
商品企画	31	11.7%	20.8%
商品開発	21	7.9%	22.6%
販売	7	2.6%	16.7%
研究	7	2.6%	41.2%
生産管理	26	9.8%	18.7%
品質管理	25	9.4%	17.6%
サービス	2	0.8%	9.1%
試験検査	26	9.8%	18.1%
苦情相談・処理	3	1.1%	18.8%
技術全般	7	2.6%	20.0%
教育指導	2	0.8%	12.5%
その他	20	7.5%	19.0%
学生	22	8.3%	11.1%
無回答	9	3.4%	11.1%

(合格者の年齢別)

年代	合計	構成比	認定者/出願者
合計	265	100.0%	16.4%
10 歳代	0	0.0%	0.0%
20 歳代	112	42.3%	17.2%
30 歳代	73	27.5%	17.0%
40 歳代	47	17.7%	14.9%
50 歳代	31	11.7%	16.8%
60 歳代	2	0.8%	7.4%
70 歳代	0	0.0%	0.0%

## 2. 認定証について

繊維製品品質管理士の登録申請に基づき、一般社団法人 日本衣料管理協会において登録原簿が作成され、2022年11月1日付けで『繊維製品品質管理士証』が交付されます。

## 〔参 考〕

### 制度の概要

#### 1. 繊維製品品質管理士制度について

- ◆ 繊維製品品質管理士は、消費者に供給される繊維製品の品質、性能の向上を図ったり、繊維製品の品質等について消費者からクレームが出ないように、これらの製品の製造や販売を行う企業等のなかで活躍するスペシャリストです。

その英文名 Textiles Evaluation Specialist の頭文字 T. E. S. を取ってTES『テス』の愛称で呼ばれています。

- ◆ TES資格を得るためには、一般社団法人日本衣料管理協会の行う認定試験に合格することが必要です。試験は、短答式試験3科目と記述式試験2科目の計5科目で行われます。合格科目の有効期間内（3年）に5科目すべてを満たした人は一般社団法人日本衣料管理協会に登録され、繊維製品品質管理士証が交付されます。

短答式試験は、繊維製品の品質管理業務に携わるために必要な基礎知識および技術の有無を判定するために、次の3科目の筆記試験により行います。

- ◇『繊維に関する一般知識』
- ◇『家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識』
- ◇『家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題に関する知識』

記述式試験は、繊維製品の品質管理業務に携わるために必要な識見および応用能力の有無を判定することを目的として、次の2科目の筆記試験により行います。

- ◇『事例』
- ◇『論文』

- ◆ 繊維製品品質管理士の登録の有効期間は5年です。登録後5年目に一般社団法人日本衣料管理協会の行う『登録更新のための試験』に合格して登録を更新することができます。

#### 2. 受験資格について

この試験には受験を制限するものは一切ありません。学歴、年齢を問わず誰でも受験することができます。